

澤和樹 & 蓼沼恵美子

癒しと愛の二重奏



令和6年

5/12日

開演14:00

開場13:30

印南町公民館2階 大ホール(全席自由席)

(印南町大字印南2009番地1)

入場には整理券が必要となります

- 期間 4月8日(月)～ ● 時間 8:30～17:15
- 場所 印南町公民館 ● 協力金 1,000円(高校生以下は無料)

※定数になり次第販売を終了いたします。

問い合わせ 印南町教育委員会 ☎0738-42-1700

演奏曲目

- | | |
|---------|----------------------------------|
| モーツァルト | ヴァイオリンとピアノのためのソナタ ト長調 K.379 |
| グリーグ | ヴァイオリンとピアノのためのソナタ No.3 八短調 Op.45 |
| — 休憩 — | |
| マスネ | タイースの瞑想曲 |
| エルガー | 愛の挨拶 |
| J.S.バッハ | G線上のアリア |
| 日本のこころ | 「花」「ふるさと」「からたちの花」「夕焼小焼」「椰子の実」 |
| クライスラー | 愛の悲しみ、愛の喜び |

癒しと愛の二重奏

モーツァルトをはじめクラシックの名曲には「癒し」の力があると言われます。思えばバッハ、ヘンデル、ハイドン…と続くクラシック音楽と呼ばれる名曲は、もともと「クラシック音楽」として作曲されたわけではなく、教会や王侯貴族の求めに応じて、あるいは庶民の楽しみのために作曲されてきた星の数ほどある無数の作品の中から、多くの人々から愛され、200年、300年という時を超えて大切にされて来た極上の価値を持ったものです。それらの名曲によって人々は身も心も癒され、励まされて来たのではないのでしょうか。そして、多くの名曲に共通するテーマは「愛」。何も男女の愛だけでなく、家族愛、さらに大きく人間愛を高らかに歌い、訴えるものです。

1976年の和歌山でのデビューリサイタル以来、デュオとしての活動が間もなく半世紀におよぶ澤和樹、蓼沼恵美子の二重奏による「癒しと愛」の名曲をお楽しみください。

出演者プロフィール



澤 和樹
Kazuki Sawa
(ヴァイオリン)

1979年、東京藝術大学大学院修了。「安宅賞」受賞。ロン＝ティボー、ヴィエニャフスキ、ミュンヘンなどの国際コンクールに入賞。イザイ・メダル、ボルドー音楽祭金メダル受賞などヴァイオリニストとして国際的に活躍。'80年より文化庁在外研修員としてロンドンに派遣され、ジョージ・パウク、ベラ・カトーナ両氏に師事。'84年に東京藝大に迎えられとともに本格的な演奏活動を開始。'89年には、文部省在外研究員としてロンドンの王立音楽院に派遣され、さらに研鑽を重ねた。この時期、アマデウス弦楽四重奏団メンバーとの出会いにより澤クワルテットの結成を決意する。'96より指揮活動を開始、九州交響楽団、東京フィル、日本フィル、札幌交響楽団、紀尾井ホール室内管弦楽団等にも客演し好評を博す。東京藝術大学音楽学部教授、音楽学部長を経て2016年より2022年まで東京藝術大学長。2023年、韓国文化体育観光部長官賞を受賞。現在、東京藝術大学・英国王立音楽院名誉教授。東京大学先端科学技術センターフェロー。和歌山県立図書館音楽監督。

東京藝術大学附属音楽高校を経て、同大学を首席卒業。「安宅賞」受賞。同大学院修了後、ロンドンにてマリア・クルチョ女史に師事。1983年、ミュンヘン国際コンクール、ヴァイオリン・ピアノ二重奏部門にてヴァイオリンの澤和樹と共に第3位入賞。1984年、東京にてソロデビューリサイタルを開催し、本格的な演奏活動を開始する。これまでに、国内外の著名アーティストとも多数共演、高い信頼を得ている。'04年には、妹、蓼沼明美とピアノデュオによるリサイタルを開催し、CD「姉妹デュオによる珠玉の連弾」をリリース。'11年、ヘンシェル弦楽四重奏団との共演によるCD「シューマン&ブラームスのピアノ五重奏曲」は音楽誌上で高い評価を受ける。澤和樹とのデュオ活動は40年以上におよび、フィンランドのクフモ、サヴォンリンナ、イギリスの湖水地方、アメリカのポウドイン、アイルランドのウェスト・コークなど、国内外の音楽祭に招聘されるほか、NHK-FM、BBC等にも出演。2006年の「ベートーヴェン：ヴァイオリンとピアノのためのソナタ全曲チクルス」は国内各地、イギリスでも成功を収めた。また、'14～'15年の「シューベルト、シューマン、ブラームスをうたう」シリーズのライブCDは、いずれも「レコード芸術」特選盤として紹介されている。現在、洗足学園音楽大学、桐朋学園芸術短期大学講師。



蓼沼 恵美子
Emiko Tadenuma
(ピアノ)